

富山高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	ナビゲーション・システム
科目基礎情報				
科目番号	0032	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	海事システム工学専攻	対象学年	専2	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	講義資料( <a href="http://www2.nc-toyama.ac.jp/~mkawai/lecture/radionav/radionav.html">http://www2.nc-toyama.ac.jp/~mkawai/lecture/radionav/radionav.html</a> , <a href="http://www2.nc-toyama.ac.jp/~mkawai/lecture/numerical/numerical.html">http://www2.nc-toyama.ac.jp/~mkawai/lecture/numerical/numerical.html</a> )			
担当教員	河合 雅司,向瀬 紀一郎			
到達目標				
衛星航法システムの基本を理解し、測位計算プログラムを作成する能力の習得。				
1. GPS時、座標系等を理解し、それに関する相互変換を行なうためのプログラム作成ができる。				
2. GPS暦を用いてGPS衛星の位置を求めるためのプログラムを作成することができる。				
3. 衛星航法システムにおける測位計算を行なうためのプログラムを作成することができる。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	GPS時、座標系等を理解し、それに関する相互変換プログラムを作成できる。	GPS時、座標系等を理解し、それに関する相互変換計算ができる。	GPS時、座標系等を理解することができない。	
評価項目2	GPS暦を用いてGPS衛星の位置計算プログラムを作成できる。	GPS暦を用いてGPS衛星の位置を求めることができる。	GPS暦を用いてGPS衛星の位置を求めることができない。	
評価項目3	衛星航法システムにおける測位計算プログラムを作成できる。	衛星航法システムにおける測位計算を行なうことができる。	衛星航法システムにおける測位計算ができない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	航法システムの歴史・概要から衛星航法システムにおける測位計算方法（衛星位置計算、観測データへの電波伝搬補正・最小2乗法による位置計算）までを具体的に解説する。			
授業の進め方・方法	教員2名で講義を実施する。			
注意点	定期試験(70%)と演習や提出物(30%)で評価する。 単位認定には、60点以上の評定が必要です。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
3rdQ	1週	ガイダンスと航法システムの概要	天文航法・慣性航法・電波航法・衛星航法の歴史および概要について理解する。	
	2週	HTMLについて	HTMLファイル及びその作成方法について理解する。	
	3週	Javascriptについて	Javascriptについて理解する。	
	4週	Javascriptの文法(変数, 数値・文字列, 配列)	Javascriptの文法(変数, 数値・文字列, 配列)について理解する。	
	5週	Javascriptの文法(演算子, 繰り返し計算, 条件分岐)	Javascriptの文法(演算子, 繰り返し計算, 条件分岐)について理解する。	
	6週	Javascriptの文法(関数, 数学関数)	Javascriptの文法(関数, 数学関数)について理解する。	
	7週	GPS時	GPS時を理解し年月日とGPS週・GPS週秒の相互変換プログラムを作成できる。	
	8週	中間試験	第1週～第7週の内容の理解度を評価する。	
後期	9週	座標系	座標系を理解して地球固定座標と地表面座標の相互変換プログラムを作成できる。	
	10週	航法メッセージ	航法メッセージを理解し衛星位置を計算するための軌道情報を取り出すことができる。	
	11週	G P S暦 (放送暦)	放送暦を理解しそれを用いてG P S衛星位置計算プログラムの作成ができる。	
	12週	衛星時計誤差	衛星時計誤差を理解し、衛星時刻補正係数を用いて衛星時計誤差を計算することができる。	
	13週	電波伝搬補正(対流圏補正・電離層補正)	電波伝搬補正(対流圏補正・電離層補正)を理解し、補正值を計算するプログラムの作成ができる。	
	14週	測位計算法	衛星航法システムにおける測位計算法について理解する。	
	15週	期末試験	第9週～第14週の内容の理解度を評価する。	
	16週	期末試験の返却、解答。		
モデルカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル
評価割合				
	試験	発表	相互評価	態度
総合評価割合	70	0	0	0
基礎的能力	35	0	0	0
専門的能力	35	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0